



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

95.12.4 No.4305

鴨川に真紅の動輪旗立つ!



【写真上】鴨川支部結成大会終了後、鴨川支部をはじめ勝浦支部出身全組合員で写真撮影。勝浦支部解散の悔しさ、JR総連への怒りを胸に刻み、配属先の職場でともに闘いぬくことを誓う。
(11月29日、勝浦市民会館前にて)

組織破壊—団結破壊 粉碎し鴨川支部を結成

全ての組合員のみなさん!

JR—JR総連が結託した勝浦運転区廃止—鴨川運輸区新設攻撃に対して動労千葉は、七十二時間ストライキの真っ只中で深紅の動輪旗を鴨川運輸区の中に掲げ、新たな闘いの拠点を築き上げた。

二十九日に行われた鴨川支部結成大会は、動労千葉としても、鴨川支部としてもこれからの新たな闘いへの団結を打ち固める勝利宣言の大会となった。

鴨川支部先頭に
JR総連解体へ

鴨川支部の結成は、第一に、JR—JR総連による組織破壊—団結破壊を打ち破り、勝利のうちにかちとられた。この勝利に怯えているのはJR—JR総連だ。闘いを強化しJR総連解体へ進撃しよう。

第二に、安全をかえりみずに強行した外房線二〇キロ運

【写真下】午前中の勝浦支部解散大会を終え、13時から鴨川支部結成大会が行われた。まさに72時間ストライキの真っ只中で闘いの拠点が築かれ、鴨川支部の闘いはこの場から始まった。照岡支部長を先頭にした新執行部のもと、新たな団結を誓う。
(11月29日、勝浦市民会館大会議室にて)



転を弾劾し、運転保安確立へ闘う拠点を確立したということだ。六〇歳まで働ける労働条件の確立へ闘おう。

第三は、「大失業時代と戦争の時代」の到来の中で、動労千葉の七十二時間ストライキ鴨川支部結成は全国の労働者に勇気と感激

を与えるものとなった。闘う労働運動の再構築をめざし動労千葉が討つ手一丸となって闘いぬこう。

全ての組合員のみなさん!
鴨川支部を先頭に「JR本制—打倒! JR総連解体へ全力で闘いぬこう!

◆照岡支部長に聞く◆

一日のストライキ終了後に鴨川運輸区へ赴任した。運輸区の回りには二メートル位のフェンスが張りめぐらされ、「鴨川サファリパーク」と言われていることがうなずけた。
赴任そうそうに車掌を努める国労の仲間が「これからはよろしく」とあいさつされた。
われわれも緊張して赴任したが、最も緊張しているのは当局やJR総連の組合員かもわからない。
これからは鴨川運輸区でどのように支部の力を発揮していくかが問題になるが、頑張る決意だ。